



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 古河電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5801 URL <http://www.furukawa.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 敬一
 問合せ先責任者(役職名) IR・広報部長 (氏名) 増田 真美 (TEL) 03(3286)3050
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	703,387	16.3	33,272	40.1	34,758	67.2	29,226	54.7
29年3月期第3四半期	604,937	△6.2	23,756	40.6	20,790	27.6	18,892	208.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 43,480百万円(50.6%) 29年3月期第3四半期 28,872百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	414.68	ー
29年3月期第3四半期	267.86	ー

※ 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	821,813	278,109	29.6
29年3月期	750,126	237,051	27.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 243,036百万円 29年3月期 206,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	55.00	55.00
30年3月期	ー	0.00	ー		
30年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	950,000	12.6	43,000	11.3	45,000	24.9	25,500	45.1	361.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	70,666,917株	29年3月期	70,666,917株
30年3月期3Q	185,735株	29年3月期	193,803株
30年3月期3Q	70,478,536株	29年3月期3Q	70,532,107株

※ 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、29年3月期3Q期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託 (BBT) にかかる信託口が保有する当社株式が含まれておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)の当第3四半期連結累計期間の業績は、電装エレクトロニクスセグメント、機能製品セグメントや、インフラセグメントの情報通信ソリューション事業がおおむね好調で、売上高は7,034億円(前年同期比16.3%増)、営業利益は333億円(前年同期比40.1%増)となりました。経常利益は348億円(前年同期比67.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は292億円(前年同期比54.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[インフラ]

電力事業が低迷していることや、中国市場での調整局面継続による集積型信号光源の減収幅の拡大、北米の光ケーブルで一時的に売上が落ち込んだものの、国内ネットワークシステムの旺盛な需要による売上増もあり、当セグメントの売上高は2,166億円(前年同期比15.6%増)、営業利益は98億円(前年同期比15.1%増)となりました。

[電装エレクトロニクス]

製品ミックスを改善したことや、生産性の改善による着実な増産で伸銅品の旺盛な需要に対応したことにより、銅条・高機能材事業が増収増益となったこと、巻線事業ではスマートフォンや自動車向けの需要が堅調に推移したこと、自動車部品事業においても新車種に採用されたワイヤハーネスの売上増があったことなどから、当セグメントの売上高は3,830億円(前年同期比16.7%増)、営業利益は125億円(前年同期比79.9%増)となりました。

[機能製品]

銅箔事業で旺盛な需要の継続に加えて製品ミックスの改善、生産性向上が寄与したことや、サーマル・電子部品事業でデータセンター向け需要が堅調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は1,135億円(前年同期比12.4%増)、営業利益は111億円(前年同期比29.4%増)となりました。

[サービス・開発等]

主に物流、各種業務受託等による当社グループの各事業のサポート、不動産の賃貸、水力発電、新製品研究開発の推進等のサービス・開発等の事業を行っております。

当セグメントの売上高は389億円(前年同期比6.3%増)、営業損失は2億円(前年同期比1億円改善)となりました。

なお、当セグメントを構成していた古河インフォメーション・テクノロジー(株)について、平成29年10月1日付で持分を一部譲渡し、同社が持分法適用関連会社となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ717億円増加して8,218億円となりました。受取手形及び売掛金が247億円、棚卸資産が185億円、有形固定資産が93億円、投資有価証券が112億円それぞれ増加しました。

負債の部では、長期借入金、短期借入金、社債を含む有利子負債が2,778億円と前連結会計年度末比で252億円の増加となりました。

純資産の部では、利益剰余金が249億円増加しました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.0ポイント上昇し29.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月2日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成30年2月6日に公表いたしました「平成30年3月期 通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,165	52,109
受取手形及び売掛金	198,864	223,521
有価証券	54	31
商品及び製品	32,967	42,678
仕掛品	31,273	38,295
原材料及び貯蔵品	40,114	41,839
繰延税金資産	8,243	6,741
その他	24,945	28,244
貸倒引当金	△1,231	△1,297
流動資産合計	382,398	432,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	215,304	219,305
機械装置及び運搬具	457,180	462,694
工具、器具及び備品	71,193	71,322
土地	38,348	40,336
その他	20,447	23,377
減価償却累計額	△596,983	△602,244
有形固定資産合計	205,490	214,792
無形固定資産		
のれん	3,149	2,704
その他	6,592	8,014
無形固定資産合計	9,742	10,719
投資その他の資産		
投資有価証券	125,227	136,434
退職給付に係る資産	4,884	5,055
繰延税金資産	4,013	3,628
その他	19,780	20,286
貸倒引当金	△1,410	△1,266
投資その他の資産合計	152,494	164,137
固定資産合計	367,727	389,649
資産合計	750,126	821,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,087	119,340
短期借入金	90,310	108,355
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,287	3,463
製品補償引当金	15,971	15,798
その他	65,706	61,422
流動負債合計	293,364	318,380
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	132,234	135,411
退職給付に係る負債	45,178	42,648
環境対策引当金	10,322	10,088
資産除去債務	502	486
その他	11,473	16,688
固定負債合計	219,711	225,322
負債合計	513,075	543,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,395	69,395
資本剰余金	21,562	22,271
利益剰余金	103,942	128,809
自己株式	△633	△613
株主資本合計	194,267	219,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,622	33,400
繰延ヘッジ損益	717	893
退職給付に係る調整累計額	△8,138	△7,415
為替換算調整勘定	△6,756	△3,703
その他の包括利益累計額合計	12,445	23,174
非支配株主持分	30,338	35,072
純資産合計	237,051	278,109
負債純資産合計	750,126	821,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	604,937	703,387
売上原価	495,848	578,946
売上総利益	109,089	124,440
販売費及び一般管理費		
販売費	26,133	28,977
一般管理費	59,198	62,190
販売費及び一般管理費合計	85,332	91,167
営業利益	23,756	33,272
営業外収益		
受取利息	389	449
受取配当金	1,017	1,333
持分法による投資利益	—	3,513
その他	1,905	2,860
営業外収益合計	3,312	8,156
営業外費用		
支払利息	2,666	2,990
持分法による投資損失	451	—
為替差損	1,184	861
その他	1,976	2,818
営業外費用合計	6,278	6,670
経常利益	20,790	34,758
特別利益		
固定資産処分益	3,233	8,985
負ののれん発生益	5,251	—
その他	2,798	128
特別利益合計	11,284	9,113
特別損失		
固定資産処分損	451	456
訴訟等損失引当金繰入額	—	2,125
環境対策引当金繰入額	1,246	—
その他	1,853	1,060
特別損失合計	3,551	3,643
税金等調整前四半期純利益	28,522	40,228
法人税、住民税及び事業税	3,699	5,774
法人税等調整額	2,759	2,464
法人税等合計	6,458	8,238
四半期純利益	22,063	31,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,171	2,764
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,892	29,226

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	22,063	31,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,258	6,675
繰延ヘッジ損益	2,223	217
退職給付に係る調整額	811	794
為替換算調整勘定	△3,433	2,637
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,051	1,165
その他の包括利益合計	6,808	11,490
四半期包括利益	28,872	43,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,452	39,972
非支配株主に係る四半期包括利益	2,420	3,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インフラ	電装エレクトロニクス	機能製品	サービス・開発等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	182,439	306,320	91,304	24,874	604,937	—	604,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,958	21,834	9,700	11,776	48,268	△48,268	—
計	187,397	328,154	101,004	36,650	653,206	△48,268	604,937
セグメント利益又は損失(△)	8,526	6,946	8,613	△253	23,833	△76	23,756

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「インフラ」セグメントにおいて、株式会社ビスキャスからの事業譲受に伴い、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益5,251百万円を特別利益に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インフラ	電装エレクトロニクス	機能製品	サービス・開発等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	210,680	359,263	106,908	26,534	703,387	—	703,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,938	23,720	6,635	12,411	48,706	△48,706	—
計	216,619	382,984	113,543	38,946	752,093	△48,706	703,387
セグメント利益又は損失(△)	9,816	12,497	11,146	△177	33,283	△10	33,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。